

# 奴国なこくかわらばん

第八号  
令和五年●月●日

熊野神社の北東側で行った須玖岡本遺跡岡本山地区19次調査で、甕棺墓や古墳を確認しました。  
「奴国研究室（なこくラボ）」に参加した春日北中学校の4人が、発掘調査や遺物の展示をしました。

## 熊野神社北東側にある謎の高まり

須玖岡本遺跡に含まれる熊野神社一帯は、同遺跡岡本山地区の北部に位置します。熊野神社北東側の史跡地の一角には、人為的に盛られたと考えられる高まりがありますが、いつ、何のために造られたものかは分かっていませんでした。なお、七号でも紹介しましたが、熊野神社社殿下にも高まりがあり、こちらは調査で古墳時代後期の円墳と分かっています。

そこで、令和4年に、高まりの周辺部も含めて地中レーダー探査を行い、この場所にはどんな遺跡があるのかを調査しました。

しかしながら、地中レーダー探査の結果では、



▲対象地にある高まり（調査前）

地下の遺跡の様子は明らかにできず、高まりも石室などの反応はなく古墳であるかは分かりませんでした。このため、令和5年度に発掘調査を行い、地下の遺跡を確認することになりました。

## 須玖岡本遺跡岡本山地区19次調査

調査は、令和5年5～8月に行い、高まりを中心に、北東側（1トレンチ）、南西側（2トレンチ）、その中間（3トレンチ）、北西側（4トレンチ）に幅1mの試掘坑を掘削したところ地表下40～80cmで遺跡を確認しました。

1トレンチは、中央部で、一部が後世に破壊されていましたが、甕棺墓を検出しました。なお、甕棺墓は上面確認に止め、内部などの調査はしていません。東隅部では、古墳の周溝を検出しました。

2トレンチは、古墳の周溝を確認しました。また、古墳の墳丘の土層も観察できました。なお、周溝の南側では、周溝を掘った時に上部を壊された甕棺墓が出土しました。



▲須玖岡本遺跡岡本山地区19次調査区全景



▲1トレンチ出土甕棺墓



▲2トレンチ東壁

3トレンチは、他の場所よりも深い地表下90cm前後で古墳の周溝を確認しました。  
4トレンチは、掘削の途中で、土器や古代の瓦と共に花崗岩の石塊などが出土しました。花崗岩の石塊は、古墳の石室の一部だったと考えられます。発掘調査によって、当地で見られた高まりは壊された古墳の一部であることが分かりました。出土した須恵器や周溝から考えると古墳時代後期（6世紀代）に造られた円墳であると考えられ、熊野神社下にも古墳があることからこの一帯は、数基の群集墳（家族墓）があったと考えられます。また、弥生時代には墓地として利用されたよう、岡本公園から続く弥生時代の甕棺墓地が延びていたことが分かりました。

# 「奴国の丘研究所(奴国ラボ)」を設立!!

令和5年6月3日、春日北中学校の大槻直人主任研究員、安藤妃芽香研究員、大江竜弘研究員、柴田歩武研究員の4人を迎え奴国ラボを設立しました。

目標は、8月26日から開催される考古企画展「わたしたちの須玖遺跡群」のワンコーナーで、春日北小学校の地下に眠る須玖坂本B遺跡について遺物を展示、紹介すること。それまでに研究員たちは、過去に出た遺物から興味のあるものを選び、研究を行なってきました。

さらに、展示の直前には、実際に須玖坂本B遺跡の発掘調査に参加し、弥生時代の柱穴などを調査し、土器などを掘り上げました。



▲奴国ラボの研究員のみなさん  
左から大槻主任研究員、安藤研究員、柴田研究員、大江研究員

## 須玖坂本B遺跡10次調査 弥生人の生活の痕跡を発掘!

須玖坂本B遺跡は、奴国王の王宮が発見されるのではないかと期待される遺跡です。今回調査したのは、グラウンドの南部。昨年度の9次調査のすぐ南側になります。

発掘調査は、昨年度の調査に参加した大槻主任研究員以外は初めての体験。発掘作業員と一緒に弥生時代の建物の柱穴などの遺跡を発掘しました。遺跡は約2000年前のもので、長い間地下に埋まっていたので、遺跡の中の土は硬く締まっていました。研究員たちは、炎天下の中、中の土器を壊さないように注意しながら、慎重に調査を進めました。

柱穴などからは、小さいながらも弥生土器の破片が出土。大発見ではありませんが、弥生土器から建物跡の時期を決めることができる貴重な発見でした。

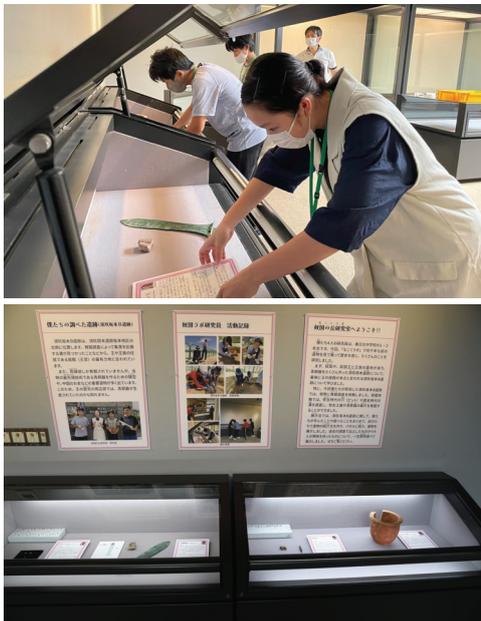


▲発掘体験中

## もちろん遺物の展示も初めての体験 「わたしたちの須玖遺跡群」開催!!

自分たちが選んだ遺物についての研究成果を展示会で公開しました。それまでに、調査内容を他の研究員に発表したり、文章にまとめ、展示パネルを作製したり、自分たちが使う展示ケースを移動させたり、そして、遺物の展示へ。研究員たちは「もう少し、後ろが見やすい。」「遺物の間隔は離れたほうがよい。」など意見を出しながら、担当した遺物を並べました。

研究員たちの成果は、令和5年10月22日まで、奴国の丘歴史資料館特別展示室で見ることができず。ぜひご覧ください。



▶ 展示準備中

▶ 展示完成!

【問い合わせ先】春日市奴国の丘歴史資料館

Tel 092 (501) 1144  
Fax 092 (573) 1077